

プロ野球、長野県出身選手プロフィール（2023年版）

上原 昇（2組）

プロ野球の2023年シーズンは3月30日からペナントレースが始まります。今年もプロ野球選手名鑑を見ながら、長野県出身の選手（今回はコーチと審判員も）について紹介してみます。

- ◆牧 秀悟（横浜ベイスターズ、内野手、背番号2、中野市出身、25歳、



松本第一高 ⇒ 中大 ⇒ 21年横浜ドラフト（D）2位、3年目）
昨シーズンは2年目のジंकスもなんのその、大活躍でベストナイン選出、年棒は1億2千万円大台に。
WBC侍ジャパンメンバーにも選ばれ、3月9日の初戦では先発出場し本塁打を記録するなど、今シーズンも広角打法での活躍、間違いなしか。

- ◆水上由伸（西武ライオンズ、投手、背番号69、上伊那郡宮田村出身、25歳



帝京三高（山梨県）⇒ 四国学院大 ⇒ 21年西武育成D、3年目）
昨年パ・リーグの新人王（育成出身としてはパ史上初、長野県出身初）と最優秀中継賞を獲得、今季は投の中軸として優勝を目指したい。

- ◆直江大輔（読売ジャイアンツ、投手、背番号54、長野市出身、23歳、



松商学園 ⇒ 巨人19年D3位、5年目）
昨季8月には念願の初勝利をあげるも尻つぼみで終わる。今季はどんぐりの背比べ状態の巨人軍若手投手陣の中、ひとつ頭を抜けて出して一軍に定着できるか。

- ◆高寺望夢^{のぞむ}（阪神タイガース、内野手、背番号67、上田市真田町出身、21歳、



上田西高 ⇒ 阪神21年D7位、3年目）、高畑悟郎君（8組）の真田中学後輩。昨季は一軍に8試合出場し初安打も。今季は一軍での出場機会を増やしたい。

- ◆赤羽由紘^{よしひろ}（ヤクルトスワローズ、内野手、背番号 71、松本市出身、23 歳、日本ウェルネス筑北高（東筑摩郡）⇒ 信濃グランセローズ ⇒ ヤクルト 21 年育成 D、3 年目）
昨季、フレッシュオールスター（二軍）で MVP 獲得、今季は一軍で活躍を。



- ◆笹原操希^{みさき}（読売ジャイアンツ、外野手、背番号 009、上田市出身、19 歳、上田西高 ⇒ 巨人 22 年育成 D、2 年目）
まずは、二軍での出場を増やすことから。



- ◆内田湘大（広島東洋カープ、内野手、背番号 63、南佐久郡出身、19 歳、利根商高（群馬県）⇒ 広島 23 年 D2 位、1 年目）
高校時代 36 本塁打を記録したスラッガー、大きく育て欲しい。



（コーチ）



- ・上田佳範（中日ドラゴンズ、二軍打撃コーチ、背番号 86、松本市出身、50 歳、
松商学園⇒日ハム 92 年 D1 位、今季、日本ハムから中日へ）
現役時代の通算記録は、安打 486、本塁打 37、打率. 236

（日本野球機構審判員）

- ・青木 昂（松本県ヶ丘高、30 歳）
- ・西沢一希（上田東高、25 歳）

（2023 年 3 月 10 日記）

以上